

夜間景観の形成に関する基本的事項

1 用語の定義

(1) あかり

電球や蛍光灯、LED、ろうそく、たいまつなど、周りを明るくするものの総称。

(2) 景観照明

フルカラーLED照明や投光器等により建築物や施設をライトアップするなど、ただ単に街を明るくするためだけの照明ではなく、都市空間をより美しく魅力的に演出するための照明を含むもの。

2 魅力的な夜間景観の形成に求められる「あかり」

魅力的な夜間景観を形成するためには、「美しく魅せるあかり」だけを整備するのではなく、その場所の快適性の向上につながるよう、安全を確保した上で、「安心をつくり出すあかり」の整備にも取り組む必要がある。

(1) 美しく魅せるあかり

- ・ 地域特性に応じて適切に統一された色温度のあかり
- ・ 地域の魅力や景観資源を際立たせるライトアップ
- ・ 魅力的な夜景を際立たせる陰影
- ・ 街並みに彩りを加える色彩光

(2) 安心※をつくり出すあかり

※ 安心の要素として、不快感を与えないあかりや環境に配慮したあかりも含むものとする。

- ・ 視界に入る鉛直面を照らすあかり
- ・ フットライト等、活動する上で必要な場所を照らすあかり
- ・ 光源や灯具の工夫により不快なグレア（まぶしさ）が低減された照明
- ・ 輝度や配光が抑制されたデジタルサイネージや自動販売機、屋外広告物の照明
- ・ 街並みに調和した色彩光
- ・ 星空や生態系に影響を及ぼさない下方配光の照明
- ・ 省エネルギーに配慮した照明器具

これら2つのあかりづくりに取り組む視点として、「あかり」には考慮すべき8つの基本原則がある。（別紙参照）

魅力的な夜間景観を形成するための「あかり」の基本原則

1 適切な色温度

美しく魅せる

観光地や住宅地には低色温度の暖かな「電球色」が適している。場所や用途に応じて使い分けを意識することが重要。

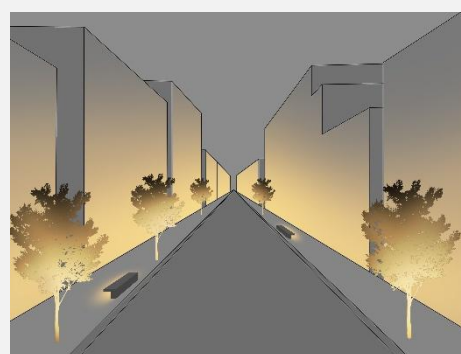


2 鉛直面の明るさ

美しく魅せる

安心をつくる

視界に入りやすい鉛直面が明るいと安心感の創出につながる。壁面や樹木を照らすと簡単に明るさ感を確保できる。

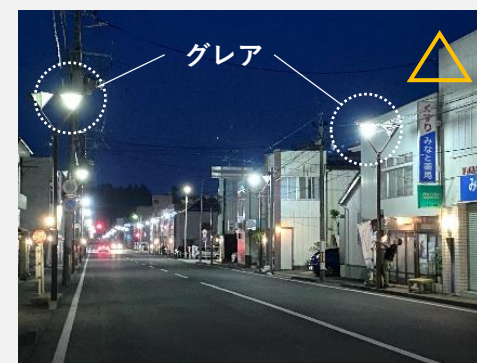


3 グレアの抑制

美しく魅せる

安心をつくる

夜空に拡散する光を抑制し、不快なまぶしさ（グレア）を防止することが重要。



4 陰影のバランス

美しく魅せる

すべてが煌々と照らされた環境も極端に暗い又は明るい環境も魅力的な夜景とは言えない。適切な陰影のバランスが重要。



5 演色性

美しく魅せる

街並みをはっきりと美しく見せるためには、演色性評価数の高い器具を選択する必要がある。



6 色彩光の配慮

美しく魅せる

安心をつくる

街並みに調和した色彩の選択が重要。



7 オペレーション

安心をつくる

点灯時間管理による印象の変化と省エネルギーへの配慮が重要。



8 環境への配慮

安心をつくる

省エネルギーのLEDを使用し、星空や生態系に影響を及ぼさないよう下方配光による漏れ光の抑制などが重要。

